# 安全にお使いいただくために

この度は、TAMAドラム製品をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。思わぬ事故や怪我を防ぎ安全にお使い頂く為に、製品をご使用になられる前に、必ず本書をお読み下さい。また、本書は大切に保管して下さい。
ドラムセットは各サイズのドラム、スタンド類とシンバルから構成され、セット全体では重くかさばります。室内での置き場所や日常の取り扱いについて、安全にご使用頂きますようご注意をお願い致します。
また、学校もしくはご家庭で小さなお子様がご使用になる場合は、指導者の方およびご家族の方からお子様に、適切な取り扱いを教えてあげて下さい。

表示記号について

本書では、本器を安全に正しくご使用頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐ為の事項を下記の記号で表示しています。内容をよくご理解頂いてから取り扱い説明書をお読み下さい。

**⚠ 警告**　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**⚠ 注意**　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容及び物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

**❗ お願い**　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

• 外部要因によって生じた本器の故障、不具合などの損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

## 設置上のご注意

### ⚠ 警告

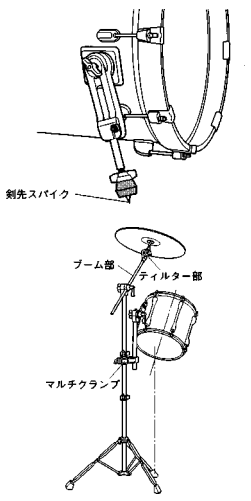
**ネジ類はしっかりと締めて下さい**

演奏中の転倒や落下を防ぐ為に、ネジ類はしっかりと締めてからご使用下さい。また、角度調整にギアを用いているモデルでは、ギアをしっかりと噛み合わせてから固定して下さい。噛み合っていない状態で無理に固定すると、演奏時の振動でシンバル等が脱落することがあります。

### ⚠ 注意

**床面を傷つけないようにご注意下さい**

バスドラムの脚部、ハイハット･スタンドやドラムペダルには、演奏中のズレを防止する為の剣先が備え付けられています。セットする時に怪我をしないよう十分注意して下さい。また、スタンド類やバスドラム、フロアタムの脚部に使用している脚ゴムは、長時間同じ場所に設置すると床面に色うつりすることがあります。床面やカーペット、畳などを汚したり傷つけたりしないために、予め厚手のカーペットや専用のマットを敷いた上に設置されることをお勧め致します。




**転倒にご注意下さい**

ドラム用ハードウェアは、三脚によって支えられています。設置時には三脚を十分に開いた上でご使用下さい。ブーム敷きのスタンドで、ブーム部を長く伸ばして使用される際には、三脚のうち一本の脚をブーム部と同じ方向にすると安定性が増します。シンバルスタンドにクランプを使用してタムタムを取り付ける場合も同様に、タムタムが一本の脚の真上になるようにセットして下さい。

## 取り扱い上のご注意

### ⚠ 警告

**演奏以外の目的に使用しないで下さい**

ドラムは個々の楽器は勿論、スタンド類に多くの金属パーツを使用しています。特にスタンド類は重量もあり危険ですので、演奏以外の目的には使用しないで下さい。

**ドラムセットの周囲でも「遊び」は危険です**

ドラムセットの周りには多くのスタンド類をセットします。周りで遊ぶと身体をぶつけたり、つまずいて転んだりする恐れがあります。特にお子様をドラムセットの周りで遊ばせないようご配慮願います。

**地震の時はドラムセットに近付かないで下さい**

地震による強い揺れでドラムセットが移動したり転倒したりする恐れがあります。地震の際にはドラムセットに近付かないようにして下さい。

**スティック類は演奏以外に使用しないで下さい**

スティックやワイヤーブラシは、ドラムを演奏するための物です。人を叩いたり、投げたりといった危険な行為は絶対にしないで下さい。

**スティックの折れた破片にご注意下さい**

スティックは木製品です。演奏中に折れて破片が飛び散る可能性がありますので、ご注意下さい。

### ⚠ 注意

**近隣の迷惑にならないようにご配慮下さい**

ドラムの演奏には、大きな音量と振動を伴います。近隣の方のご迷惑にならないように練習時間等にご配慮下さい。

**ネジ部の油にご注意下さい**

ドラム本体やスタンド類のネジには潤滑油としてグリスが使用されています。持ち運びや設置の際に衣服に付着する恐れがありますので、十分ご注意下さい。

**金属部のサビや劣化にご注意下さい**

金属部品は使用しているうちにサビを生じたり、傷付いたりします。サビたり傷ついた部分を擦って怪我をしないようご注意下さい。また、ドラムペダルやハイハットスタンドのペダルは素足で踏まないようにして下さい。

**タムホルダー、スタンドの調整時は、必ず上部を支えながら行なって下さい**

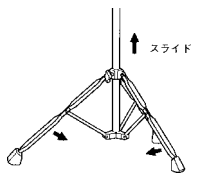
タムタムやシンバルの高さや角度を調整する際に急激にネジを緩めると、ドラムやシンバルの落下によって指を挟む恐れがあります。片手でタムタムやティルター部をしっかりと支えながらゆっくりとネジを緩めて下さい。

**三脚部の折りたたみにご注意下さい**

スタンド類の三脚を収納する際には、スタンドを持っている指を挟む恐れがありますので、十分ご注意下さい。

**パイプの内面にご注意下さい**

パイプを抜いて収納する場合や、セッティングする為にパイプを抜いた場合は、パイプの内面で指に怪我をする恐れがあります。故意もしくは不必要にパイプの中に指を入れないで下さい。




**スタンド類の突起部にご注意下さい**

スタンド類にはネジ類やブームアームなど、色々な突起部があります。セッティングの際には顔や頭をぶつけないようにご注意下さい。

**ドラムイスの上に立ったり、踏み台にしたりしないで下さい**

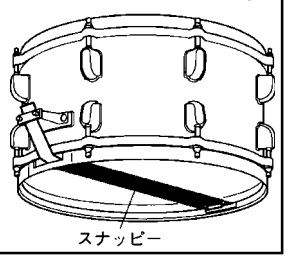
ドラムイスの上に故意に立ち上がったり、踏み台の代わりに使用したりすると、転倒したり破損したりする恐れがあります。ドラムイスはドラムの演奏の目的だけに使用して下さい。

**イスの高さを調整する際には、イスから降りて調整して下さい**

イスに腰掛けた姿勢のままで高さ調整をすると、上下する部分に指を挟んだり急激な落下で腰を痛めたりする恐れがあります。高さ調整を行う場合は、イスから降りて確実に行なって下さい。

**切れたスナッピー(響き線)にご注意下さい**

スネアドラムの裏側のスナッピー(響き線)は消耗品です。ワイヤーが片側から切れて垂れ下がっていると、移動時やセッティングの際に指や目に刺さって怪我をする恐れがあります。ペンチ等で切り取って処理し、なるべく早く新しいものと交換して下さい。




## 保管上のご注意

### ❗ お願い

**高温･多湿になる場所は避けて下さい**

車の中や直射日光の当る場所に長時間ドラムを保管すると、カバーリングシートの浮きや、ドラムシェルのプライ(合板)が剥がれてしまうことがあります。楽器の性能を損なわないよう保管場所には十分ご注意下さい。

**金属部分は時々空拭きして下さい**

サビの発生を防止する為に、ドラム本体の金属パーツやスタンド類は時々空拭きして下さい。

製品についてのご意見、ご質問等は下記住所までお問い合わせ下さい。

TAMA® HOSHINO GAKKI CO.,LTD. 星野楽器株式会社
〒461-8717 愛知県名古屋市東区橦木町3-22
http://www.tama.com

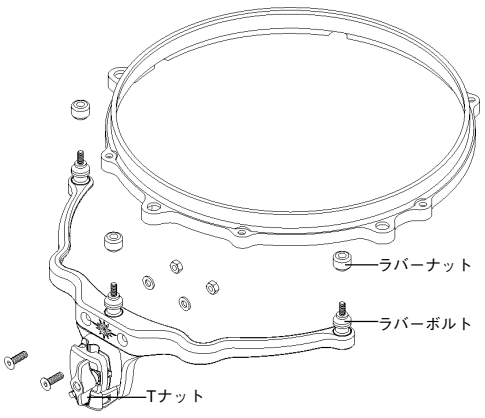
# Star-Cast Mounting System & MTH909 Double Tom Holder
# Instruction Manual

この度は、Starclassic シリーズのドラム、並びにダブルタムホルダー MTH909 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。製品の機能を十分に発揮してご使用頂く為に、本取扱説明書をご使用前に必ずお読み下さい。また本書は大切に保管して下さい。

## Star-Cast Mounting System

### 組み立て方法

1．アーム部とブラケット部を、六角穴付きボルト２箇所で固定します。付属のＬレンチでしっかりと固定して下さい。アーム部内側には、ドラムの口径サイズ（インチ）が記されていますので、あらかじめご確認の上、取り付けて下さい。
2．ラバーボルトと Star-Cast 本体を固定しているナットが緩んでいる場合は、Star-Cast をドラムへセットする前に、付属の眼鏡レンチで増し締めして下さい。
3．ラバーボルトに取り付けられているラバーナットを指で外し、打面側ダイキャストフープの３箇所の穴に３本のラバーボルトが通るようにセットし、ラバーナットで固定して下さい。この時ラバーナットは UP と書かれている側が上になるように取り付けて下さい。
4．メモリーロックは、あらかじめブラケット部に仮固定されています。ご使用の際は、ブラケットのＴナットを緩め、メモリーロックを取り外し、オムニボールロッドに固定して使用します。




### メインテナンス

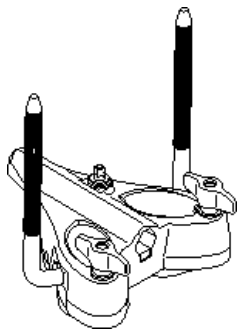
アーム部とブラケット部を固定している六角穴付きボルトが､演奏や移動の際の振動で緩む可能性があります｡付属のＬレンチで時々増し締めして下さい。またラバーボルトと本体を固定しているナットが緩む可能性もありますので、緩んだ場合は付属の眼鏡レンチで増し締めして下さい。

## MTH909 Double Tom Holder

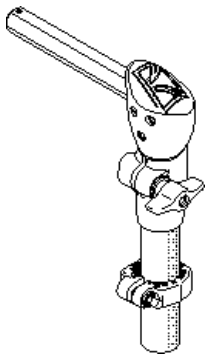
### 梱包内容

ダブルタムホルダー MTH909 は以下３つのパーツに分かれて梱包されています。

① ダブルタムホルダー本体（オムニボールロッド部）



② 高さ調整部（パイプ部）



③ 脱落防止ボルトＡ

図 i

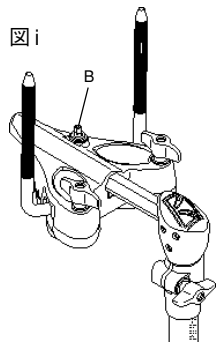
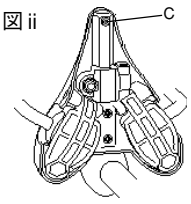



図 ii




### 組み立て方法

1．②の高さ調整部の六角ロッドを、①のダブルタムホルダー本体に挿入します(図 i)。角頭ナットＢをドラムキーで緩め、②の六角ロッドを本体①の一番奥まで挿入し、角頭ナットＢを締めて固定して下さい。
2．挿入後、②の六角ロッド先端部Ｃに、③の脱落防止ボルトＡを取り付けて(図 ii)、付属の六角レンチでしっかりと固定して下さい。脱落防止ボルトＡは、タムホルダーの前後の位置を調整する際、本体がタムホルダーから抜け落ちる事を防止するためのボルトです。必ずご使用前に装着し、しっかりと固定して下さい。また毎回ご使用になる前に、しっかり固定されているか必ずご確認下さい。

### 使用方法

1. タムホルダーベースマウントのＴボルトＤ（図 iii）を緩め、ダブルタムホルダーを挿入し固定します。この時あらかじめメモリーロックの角頭ボルトＥ (図 iv) も緩めておいて下さい。
2. Star-Cast にあらかじめ取り付けられている割式メモリーロックＦ（図 v）を取り外し、オムニボールロッドに取り付け、（図 vi）の向きになるように挿入します。この時点ではまだメモリーロックは固定せず、緩んだ状態でセットして下さい。
3. より深いサイズのタムタムを先にオムニボールロッドに取り付け、タムブラケット部のＴナットＧ（図 v）を締めて固定します。この時タムタムは図 vii のように、オムニボールロッドの比較的高い位置に、オムニボールロッドとほぼ垂直になる様にセットすると、最終的な微調整がスムーズに行えます。
4. タムタムの高さを調整します。タムタムを片手でホールドしながら、高さ調整パイプ②のダイキャストジョイント部のＴナットＨ（図 iv）を緩め、タムタムの高さを調整し、適当な位置でＴナットＨをしっかり締めて固定して下さい。
5. 3.4 の手順で、小さい方のタムタムもセットします。
6. ＴナットＩ（図 iv）でタムタムのアングルを調整します。タムタムを片手でホールドしながら、ＴナットＩを緩め、適当なアングルにセットした後、ＴナットＩをしっかり締めて固定して下さい。
7. ２つのタムタムの前後の位置を最大 50mm（約２インチ）無段階に調整できます。ダブルタムホルダーの角頭ナットＢ（図 i）をドラムキーで緩め、タムタムを両手でホールドしながら、タムタムの前後の位置を調整し、適当な位置で角頭ナットＢをしっかり固定して下さい。
8. 必要に応じて、タムタムの高さの微調整を行います。タムブラケットのＴナット部Ｇ（図 v）でそれぞれのタムタムの高さの微調整が可能です。
9. セットアップが完了したら､2でオムニボールロッドに取り付けたメモリーロックFをブラケットと噛み合うようにセット(図 vii)し、ドラムキーでしっかりと固定します。また②の下段パイプのメモリーロックも、ドラムキーで角頭ボルトＥ（図 iv）をしっかりと締めて固定して下さい。
10. 全てのボルト＆ナットをしっかり締めて下さい。
11. 使用後は、タムタムをタムホルダーから取り外した後、タムホルダーベースマウントのＴボルトＤ（図 iii）を緩めてバスドラムから外します｡次回セットアップの際は､タムホルダーをタムホルダーベースマウントに装着するだけで、同じアングルにタムタムをセットできます。

図 iii

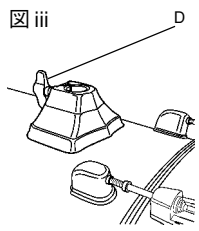



図 iv

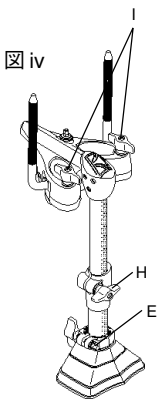



図 v

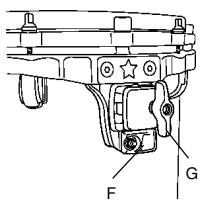



図 vi

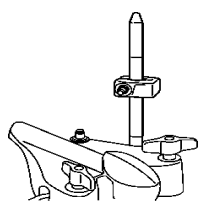
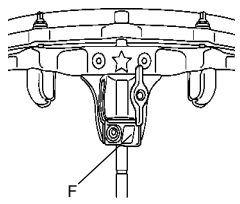



図 vii